

探訪 チャレンジ企業 9

優しさが原点の企業 野々市町・株式会社坂井工芸



良い企業とは、規模の大きいことではない。規模は小さくとも素晴らしい夢の実現に挑戦し、消費者のため社会のために尽す企業のことである。野々市町本町三丁目にある株式会社坂井工芸は、その代表例である。単なる小売業でもなければ製造業でもない。強いていえば実験場的企業とでもいえよう。

店舗の概要

店の中に一歩踏み入れる

と、そこにはモダンと日本的なわびさびが同居調和し、感性豊かな空間が存在する。

陶器の器、漆器の器、アンティークなインテリア用品、アフリカの人々が使用する衣服、蔓製籠等が棚や台や壁面に展示されている。それらの棚や台は、す



モダンとわびさびが同居調和した店内

べて廃品を活用した物で、棚は昔の水屋であり、台は木製の理科の実験台である。それらを磨き漆をかけ見事新感覚の陳列用具として活かし、魅力的な展示場を形成している。更に来客用のテーブルに至っては、大野醤油の仕込み樽の底であり、三分の二は店内のテーブルに、三分の一は外へはみ出させ装飾品や鉢などの台として活用している。正に建物と共に素朴で落ち着いた温かい空間を醸成している。

取扱い商品の特色



「ものづくりの原点は優しさ」と語る坂井社長

ここで取り扱っている商品は、総て手作りである。材料は自然の素材を始め、かつて日常使用され今や使われなくなったものに、彫刻を施したり漆をかけたりにして、研ぎすまされた現代的な美しさの商品に仕上げている。一つ一つの商品に自然の温もりと作者の息吹きを感じられ感動するばかりであり、造形や色彩の美を通して楽しい夢が湧いてくる。特に、社長が作った漆塗りの木工品の台と奥さんが作った陶器の組合せ商品は、炎と土と木の融合であり、お盆やテーブルにキズをつけたくないという優しい思いやりから生れたものである。

優しさが原点の店づくり

社長坂井陽一さんが自ら手

がけた商品、陳列用具、室内装飾品等において共通していることがある。それは廃棄されんとしているものを、現代的感覚のものに仕上げていることである。古きものへのいとおしき思いがそうさせているのであろう。つまり優しさはものづくりの原点となっている。それなればこそ、これから手がけることは無限にあるといわれる。この発想が閉塞感に穴をあけ、柔軟な対応を創り活力となっているのである。正に豊かな心が求められる時代にふさわしきチャレンジ企業といえる。

(お問い合わせ)
株式会社 坂井工芸

〒九二一八八五

石川県石川郡野々市町本町

三丁目四番二六号

TEL 〇七六二四八五〇三三

FAX 〇七六二四六一〇八三二

E-mail

suginoko@mb.infoweb.ne.jp

URL

http://village.infoweb.ne.jp/~twi1266

この新コーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。